

- 問1 オーストラリア大陸の気候帯の面積割合について説明した資料によると、乾燥帯が全体の57.2パーセントと過半数を占めています。この大陸の気候の特徴として最も適切なものを次から選びなさい。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 大陸の半分以上が乾燥帯であり、熱帯や温帯も分布するが、亜寒帯や寒帯は存在しない。 | 2. 温帯が最も広い面積を占めており、次いで亜寒帯が広く、熱帯は全く存在しない。 | 3. ほぼ全域が熱帯に属しており、一年を通して高温多湿な気候が続くが、乾燥帯は存在しない。 | 4. 低緯度から高緯度まで及ぶため、熱帯から寒帯まで全ての気候帯が均等に分布している。 |
|---|--|---|---|
- 問2 オーストラリアの産業と貿易に関する記述として、統計上の変化を正しく踏まえたものを次の中から選びなさい。 (2023年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. かつては鉄鉱石を主に輸出していたが、近年は環境保護のために石炭の輸出を完全に停止した。 | 2. 輸出相手国の第1位はかつてはイギリスであったが、現在は中国となっている。 | 3. 主要な輸出商品は、時代を問わず一貫して羊毛や小麦などの農産物が中心である。 | 4. アジア諸国への輸出が増加した理由は、オーストラリアが工業製品の輸出を強化したからである。 |
|--|---|--|---|
- 問3 アルゼンチンのラプラタ川流域に広がる温帯草原「パンパ」の産業的特徴について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 熱帯雨林の気候を利用して、輸用の天然ゴムやカカオのプランテーション開発が進んでいる。 | 2. 降水量の多い東部では小麦の栽培が盛んで、降水量の少ない西部では牛の放牧が中心となっている。 | 3. 年間を通じて乾燥が激しいため、オアシス周辺でわずかに綿花やブドウが栽培される程度である。 | 4. アンデス山脈のふもとに位置するため、傾斜地を利用したリヤマやアルパカの飼育が中心となっている。 |
|---|--|---|--|
- 問4 南アメリカ大陸西部の高地で見られる、標高に応じた多種類のじゃがいもの栽培や、家畜の毛を利用した重ね着という生活様式が成立している理由として、現地の自然環境をふまえて説明したものを選びなさい。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 偏西風が山脈にぶつかることで風下側が乾燥し、農耕に適した土地が限られている中で効率的に食料を確保するため。 | 2. 赤道直下の熱帯地域に位置しており、年間を通じて降水量が非常に多く、土壌の養分が流されやすい環境にあるため。 | 3. 海流の影響で沿岸部に冷涼な霧が発生しやすく、日照時間が短いため家畜の体温を維持する工夫が必要だから。 | 4. 標高が高くなるにつれて気温が低下し、また平地よりも直射日光が強くなるという、高地特有の気候条件に対応するため。 |
|--|--|---|--|
- 問5 ブラジルから輸入される鉄鉱石などの鉱産資源を利用する日本の鉄鋼業について、その工場の立地と特徴に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 製鉄の燃料となる木炭を大量に確保するため、原料の輸入港から離れた内陸の森林地帯に立地している。 | 2. 冷却に必要な質の高い真水を確保するため、海外からの原料輸入には頼らず、国内の河川上流付近に立地している。 | 3. 完成した製品を消費地である農村部へ迅速に届けるため、高速道路のインターチェンジ付近に集中的に立地している。 | 4. 海外から大型船舶で運ばれてくる重い原料を直接荷揚げし、輸送コストを抑えるために臨海部に立地している。 |
|--|---|--|---|
- 問6 オーストラリアがとっている国際的な役割や社会政策について述べた説明のうち、歴史的な背景や現在の取り組みとして正しいものを選びなさい。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. イギリスとの歴史的つながりを重視し、現在も貿易額の過半数をヨーロッパ諸国が占めているため、アジア太平洋地域との経済協力組織には参加していない。 | 2. 先住民民族であるマオリの権利を建国当初から認めており、その文化を基盤としながら、現在はASEANの主要メンバーとして東南アジアの経済発展を主導している。 | 3. かつては白人以外の移住を制限する政策をとっていたが、現在は多文化主義を掲げ、アジア太平洋経済協力 (APEC) の設立を主導するなど近隣諸国との経済的結束を強めている。 | 4. 内陸部の広大な砂漠地帯を開発するために、先住民民族であるアボリジニの居住区をすべて都市部に移転させ、白人のみの農業共同体を形成する政策を継続している。 |
|--|---|---|--|
- 問7 1960年代のブラジルでは、輸出総額の約半分をコーヒー豆が占める「モノカルチャー経済」の状態にありましたが、2020年の統計では特定の品目への依存度が下がり、複数の品目が輸出上位に並んでいます。現在のブラジルの輸出構造の変化について、適切な説明を選びなさい。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. コーヒー豆の輸出が完全になくなり、現在は工業製品のみを輸出する先進国型の構造に変化した。 | 2. コーヒー豆への依存がさらに強まり、輸出総額のほとんどを農産物が占めるようになった。 | 3. コーヒー豆の輸出割合が低下し、鉄鉱石や大豆、原油などがバランスよく輸出される多角的な構造に変化した。 | 4. 鉱山資源が枯渇したため、現在は大豆や小麦などの穀物輸出に特化した構造に変化した。 |
|---|--|---|---|
- 問8 1930年代、世界恐慌による経済的な混乱から立ち直るため、イギリスはオーストラリアなどの自治領や植民地を囲い込み、域内での貿易を有利に進める政策を導入しました。このように、本国と植民地の間で関税を優遇し、域外に対しては高い関税を課した排他的な経済体制を何と呼びますか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|--------------|-----------|
| 1. 自由貿易協定 | 2. 経済特区 | 3. 持続可能な開発目標 | 4. ブロック経済 |
|-----------|---------|--------------|-----------|
- 問9 オーストラリアの都市部における言語表記の多様化や、人々の移動・経済活動の動向について述べた説明として適切なものはどれですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 白豪主義の影響が現在も強く残っているため、アジア系移民の居住やアジア諸国との貿易取引は厳しく制限されている。 | 2. 1980年代以降もヨーロッパ出身の移民が過半数を占め続けており、街中の看板や主要な貿易取引の相手もヨーロッパ言語圏で固定されている。 | 3. 南アメリカ諸国との貿易額が急速に拡大した結果、都市部の看板の多くがスペイン語表記となり、南アメリカからの移民が急増している。 | 4. 1980年代以降、アジアからの移民の割合が最多となり、都市部では英語以外の言語表記もみられるほか、主要な貿易相手国もアジア諸国が上位を占めている。 |
|---|---|---|--|
- 問10 日本の市場におけるある農産物の流通量を示した統計において、国内産の流通が少なくなる6月から10月ごろにかけて、南緯30度付近に位置するチリからの輸入量が増加する傾向が見られます。このようにチリから農産物を輸入する理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. チリは南半球に位置しており日本と季節が逆になるため、国内産が不足する時期に補完して安定供給を行うため | 2. チリは北半球のアメリカと同じ気候帯に属しているため、アメリカ産の収穫時期と合わせて大量に輸入を行うため | 3. チリは赤道直下の熱帯に位置しているため、一年を通じて日本の気候に左右されず同じ品質の農産物を供給できるため | 4. チリは日本と経度がほぼ同じであり、輸送にかかる時間が極めて短いため、鮮度を保ったまま輸入できるため |
|---|--|--|--|